

十月二十二日

八時起床。小雨模様。今日は午後雑用が多く入っている。九時聖徳寺二代目住職に電話。境界の件は落着した。十一時半研究室。雄大に大学迄車で送らせた。歩くのが嫌な時もある。研究室のホセよりブラジルのガブリエラから私にと送られた本のページを繰る。何年も前にサンパウロ大学で会った女学生で、リオデジャネイロ大学のマスターだった。暇が垂れ下がる病気の人のための眼鏡のデザインをプレゼンテーションされた時の印象は強烈であった。リオデジャネイロの社会的弱者達への視線には彼等との連帯と呼びたい位の強い愛情があり、廃品、消費生活、都市への考えも一本強い筋が通っていた。そのスタディが一冊の本としてまとまったのだ。ホセには必ず彼女と連絡するようにとオペレーションしたのだが、こういう若い世代しかも女性は今日本には皆無だろう。彼女の視点の存在を知り、それが私の仕事のWORK FORMマイノリティーへの刺激になった。何年も会っていないが、内外問わず私が会った学生では最も刺激的な人間だったのだが、ガブリエラの本を眺めてその健在振りを知って嬉しい、十三時学部再編の件で集まり。入江主任の代行で出席。砂の教程教授は居るが、教育の学内システムに関心をもち、かつ能力がある人間は少ない。機械B（生命工学）の山川教授はその一人だな。信頼できる。十四時半陸海。中国非自発移民住宅の研究、相談。世界でまだ誰も手をつけていない研究だ。成功を祈る。十五時半共

同通信来室。コンバージョン取材。十六時半昭和、原口氏等三名来室。十七時迄。夜、外国人留学生を中心としたチームのミーティング。二十二時過世田谷村に戻る。日本の仏教読み直す。

十月二十三日

毎日新聞朝刊にモーターショーに和風デザインの車が登場したの記事がある。名も風雅、息吹、鷺羽など日本名が取り入れられている。ホイールに葵の紋や内装にうるしが使用されるなどしているようだ。和風の車とは意外であったが、燃料電池、ハイブリッド等環境適合可能な技術開発には巨額の金がかかり、日本の自動車メーカーも将来の生き残りを余儀なくされているようだ。グローバルな市場での競争は不思議な商品を生み出す、きざしだろう。日本の建設産業、住宅産業共にグローバルな競争からは無縁だ。文明はグローバルな競争市場の渦中に居るのは当然だろうが、しかしデザインという文化的意味合いの強い価値の世界は個性が重要なのだ。十二時研究室、聖徳寺住職、中川さんと打ち合わせ。十四時迄。突然ごうど氏来室。私の研究室をルポルタージュして一冊の本にまとめた人物である。近況を話したりで、帰った。フリーのライターというのは本当に大変なのだろうと思う。マ、こっちだつて大変なのは変わりないけれど。十六時半コンバージョンについて打ち合わせ。十七時過ぎ、ルーカスのスタッフとお茶のみ話。十九時新宿東口、柿伝にて「無目的の会」中川、佐藤、入江各先生と。二十二時了。

十月二十四日

早朝五時前起床。十勝での連続講義「生命と場所（環境）」構想を繰る。今設計作業中の建築の出来上がりはじめて同時に開講

したい。年に四回、春夏秋冬。各三日づつ位なら可能だろう。今日十勝の後藤さんが来室するので具体的に相談してみる。十一時半研究室妙高寺会館M1の仕事を見る。彼等のはミジンコレベルだが、良い芽もあつた。昼食サンドイッチ、牛乳。十三時十勝後藤氏来室。十四時過まで打ち合わせ。十勝を後藤さんが背負う日が必ず来ると信じている。十五時製図中間発表会百人分を全てやったが、十名位だな、何かクリティークするのに足るのは。二十一時半までかかる。二十三時過帰宅。晩飯を喰べるのを忘れていた。